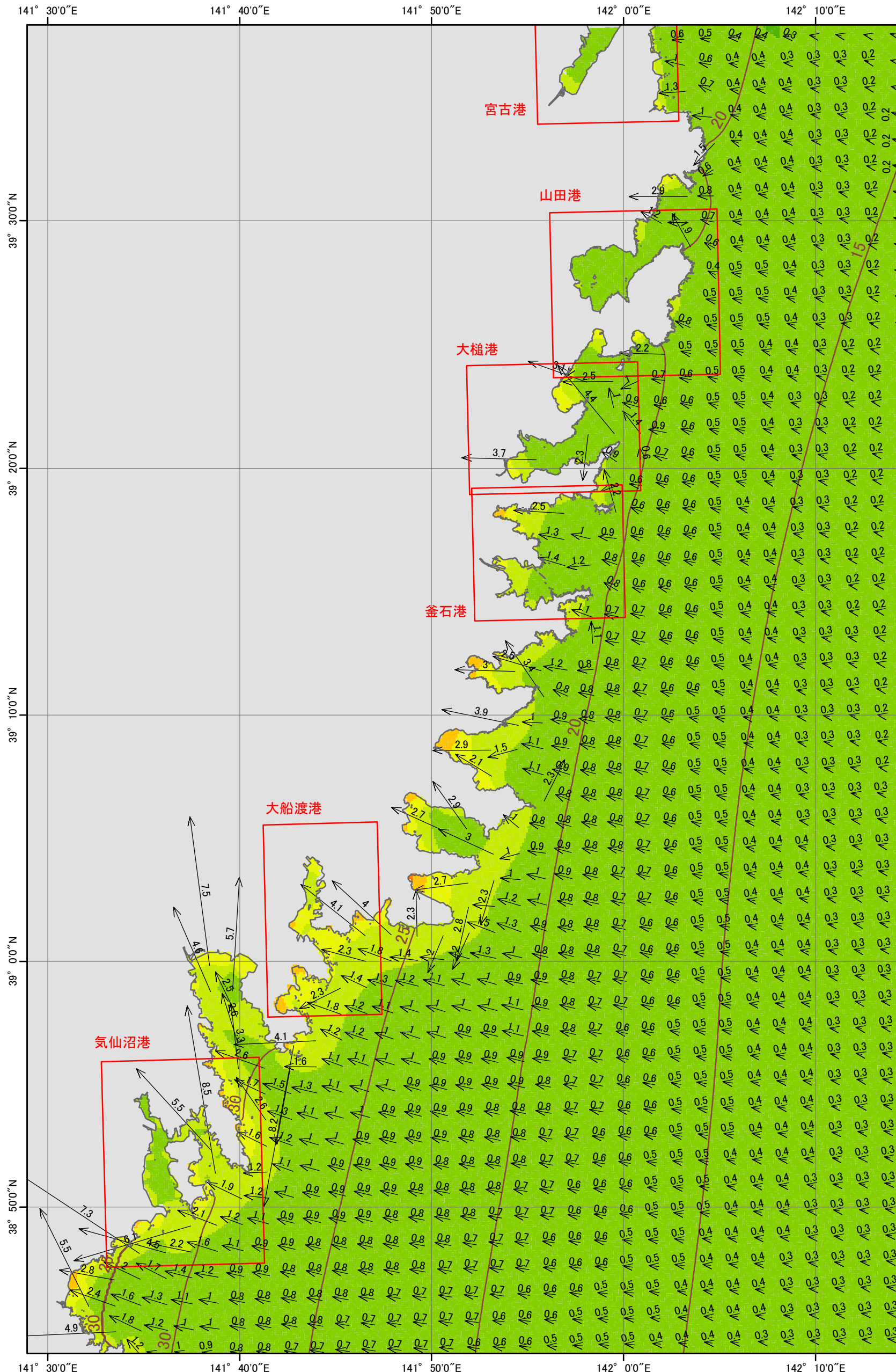




座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最高水面 (零位)
隆起量： 平均 -0.08m(-0.16m ~ -0.02m)
Zo： 0.86m
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇

- 10m~
 - 5~10m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- ⊙ 経時変化図出力点

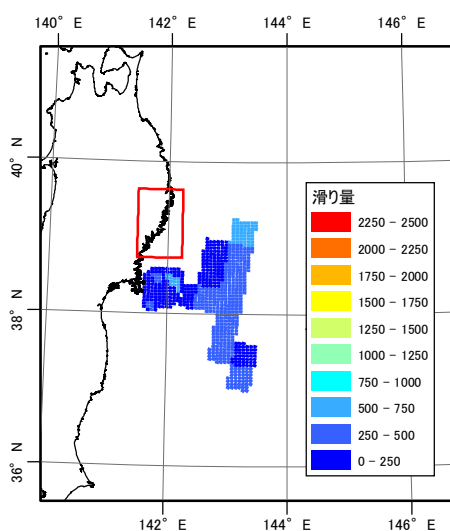
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を算出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。
- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。

断層モデル



宮城県沖地震	モーメントマグニチュード Mw	8.2
--------	-----------------	-----

本断層モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。